

# BeautyApothecary

## Music curated by Peter Barakan

### BEAUTY APOTHECARY

ビューティーアポセカリーの空間の音楽を演出するのは、  
音楽に深い愛情を持つ、ピーター・バラカン氏とその仲間たちです。  
月の満ち欠けに合わせてセクターが替わります。  
心とカラダに響く音楽を、どうぞお楽しみください。



総合監修 Peter Barakan (ピーター・バラカン)

音楽は我々の生活のサウンドトラック、とよく言われます。自分から進んで聞く音楽もあれば、無意識のうちに耳に入ってくる音楽もあります。音楽とのちょっとした出会いから、その日がぐっと楽しくなるという体験は誰もが持っているでしょう。ぼくたちはそんな出会いを少しでも増やしたいという気持ちで選曲しています。

## 10月9日(木)~11月7日(金) 満月セレクト

— 今回のセクター ご紹介 —

Music Selector : ピーター・バラカン



ピーター・バラカン

1951年ロンドン生まれ。ロンドン大学日本語学科を卒業後、1974年に音楽出版社の著作権業務に就くため来日。現在フリーのブロードキャスターとして活動。「Barakan Beat」(インターFM)、「ウィークエンド・サンシャイン」(NHK-FM)、「ライフスタイル・ミュージアム」(Tokyo FM)、「ジャパノロジー・プラス」(NHK BS1)などを担当。著書に「ラジオのこちら側で」(岩波新書)「200CD+2 ピーター・バラカン選 ブラック・ミュージック アフリカから世界へ」(学研)、「わが青春のサウンドトラック」(光文社文庫)、「猿はマンキ、お金はマニ 日本人のための英語発音ルール」(NHK出版)、「魂(ソウル)のゆくえ」(アルテスパブリッシング)、「ロックの英詞を読む」(集英社インターナショナル)、「ぼくが愛するロック名盤 240」(講談社+α文庫)、「ピーター・バラカンの音楽日記」(集英社インターナショナル)などがある。

### 今回のセレクトCD

1.



#### Penguin Cafe Orchestra "Best"

今や伝説となったグループ。フォーク、民族音楽などの様々な要素を、現代音楽を学んだサイモン・ジェフスが独自の感覚でブレンドし、美しくかつ分かりやすいメロディで究極の気持ちよさを醸し出しました。1997年に彼が急逝したことで活動に終止符を打ちましたが、最近息子のアーサーが新たなメンバーで再結成、かつてのレパートリを取り上げつつ自らオリジナル曲も作曲しています。今回は本家のベスト盤を紹介します。

2.



#### Rickie Lee Jones "Rickie Lee Jones"

1979年に出たこのデビュー・アルバムでいきなり「Chuck E' s In Love」という大ヒットを記録し、その後もマイ・ペースですっと活動を続けてきたリキ・リー・ジョウンズ。少女がそのまま人生経験豊かな大人になったような独特の声に、今でも多くのファンがいます。

3.



#### Mayra Andrade "Lovely Difficult"

西アフリカの沖合、大西洋に浮かぶ元ポルトガル領の島国カボ・ヴェルデ。ヨーロッパとアフリカの文化がまざった柔らかい横揺れの音楽がとても魅力的なところ。ここで育ち、現在パリを拠点とする29歳の歌姫マイラ・アンドラーデの歌には色っぽさと切なさがいい具合に混在します。

4.



#### Grazyna Auguscik & Paulinho Garcia "Beatles Nova"

ポーランド人の女性歌手とブラジル人のギタリストを中心としたユニットで、ビートルズの曲をボサ・ノヴァの編曲で聞かせます。よくありがちな発想かも知れませんが、これはかなり気持ちのいいものです。

5.



#### Ayo "Ticket To The World"

世界の色々なところに素敵な歌手やミュージシャンがいるのに、なかなかその音楽に触れる機会がないのはこのグローバルな時代の皮肉な部分です。このアヨは父親がナイジェリア、母親はルーマニア、すでに多くの国で活動している、いま30代半ばの女性です。シンガー・ソングライターなのですが、ラップもする、非常に力強さを感じさせる歌手です。